

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

事業計画										再評価の視点													
事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期		再評価の理由	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)			
					着工	完了		前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H20年度事業費	H21年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化						
					(億円)	(億円)		(%)	(%)	(億円)	(億円)	当初									現行		
<b>水産部</b>																							
<b>水産基盤計画課</b>																							
水計-1 (個別)	広域漁港整備事業(一般)	荒川地区(荒川漁港)	県	五島市玉之浦町	(当初) 防波堤(改良)70m 護岸(改良)30m -5m岸壁(A)60m -5m岸壁(B)1基 -4m岸壁(補修)150m -3m岸壁200m -3m岸壁(補修)100m -2m物揚場(補修)70m 浮棧橋1基 船揚場30m 補助突堤(A)50m 補助突堤(B)40m 補助突堤(C)50m 道路660m 用地(A)8,700m <sup>2</sup>	H14	H23	15.0	漁業情勢の急激な変化による計画の見直し	3.4	81	-	0.0	0.8	荒川漁港環境整備事業	陸揚量及び利用漁船ともに減少傾向にある。	当地区に漁業関連施設を集約し流通の効率化を図る地元計画は、漁業経営の悪化のため、内部調整により取りやめとなった。	1.27	1.19	事業見直しによる総費用額の減少	代替案の可能性はない	-	見直し継続
					(変更) -5m岸壁(A)60m -5m岸壁(B)1基 -4m岸壁(補修)150m -3m岸壁50m -3m岸壁(補修)100m -2m物揚場(補修)70m 道路330m 用地(A)2,000m <sup>2</sup> 用地(護岸)A)26m	H14	H21	4.2															
水計-2 (個別)	漁業集落環境整備事業	神の浦漁港	市	佐世保市宇久町	集落道 L=2,330m 雨水排水路 L=457m 防災安全施設 1式	H10	H19	5.7	再評価後5年経過	5.1	93	95	0.2	0.2	特になし	平成18年3月、宇久町は、佐世保市と合併し財政再建に取り組んでいる状況のなかで、平成19年度までに完成できなかったが、漁業集落の安全確保の面から集落道整備は重要であり、平成21年度の完成を目指す。	集落道・雨水排水路・防災安全施設が完成に近づいており、集落道の1路線を残すのみとなっている。完成している施設は地元住民から評判もよく、残りの施設についても早期に完成を望んでいる。	1.09	1.06	少子高齢により利用率が若干減少している。	なし	H15	継続
						H10	H21	5.5															
水計-3 (個別)	漁港環境整備事業	長崎漁港	県	長崎市	(当初) センターゾーン A=33,850m <sup>2</sup> 三重-1 A=11,700m <sup>2</sup> 三重-2 A=28,000m <sup>2</sup> 沖平-1 A= 4,150m <sup>2</sup> 沖平-2 A= 6,900m <sup>2</sup>	S63	H19	13.4	再評価後5年経過	10.6	85.4	100	0.7	0.6	長崎漁港広域漁港漁場(特定)整備事業	団地開発に伴い、H15年度に都市公園が設置されたこと、当事業による公園整備を見直し箇所を減じて規模を縮小した。	アンケート調査で、現在整備中の運動広場、芝生広場の整備要望を確認している。	1.22	1.25	・事業見直しによる総費用額の減少。 ・近年多発する地震等災害発生時の避難機能を評価した。	なし	H15	見直し継続
					(変更) センターゾーン A=33,850m <sup>2</sup> 三重-1 A=11,700m <sup>2</sup> 沖平-1 A= 4,150m <sup>2</sup> 沖平-2 A= 6,900m <sup>2</sup>	S63	H21	11.9															

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

	事業計画							再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)		
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無	
						着工	完了			前年度迄事業費 (億円)	進捗率 (%)	用地進捗率 (%)	H20年度事業費 (億円)	H21年度以降本費 (億円)				B/C	分析基礎の要因の変化				
						上段:当初	下段:変更							当初				現行					
<b>農林部</b>																							
<b>林務課</b>																							
林務-1	森林整備事業	森林管理道 永尾小樽線	町	波佐見町	延長 3,000m 幅員 4.0m 利用区域面積 77ha	H10	H20	4.0	再評価後 5年経過	3.5	75	-	0.4	0.8	-	森林面積・林家戸数・産出額に変化はない。既開設区間は順次供用を開始し森林整備を後押ししているが、CO2吸収源対策推進のため全線開通(連絡線形)が強く望まれている。	利用区域には県産材生産団地も含まれており、事業の早期完成を切望している。	1.92	1.65	完成年度の遅延・事業費の増加によるもの	砂利舗装について再生クラッシュランを使用	H15	継続
						H10	H22	4.7															

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

	事業計画							再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)		
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			事業費(億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無	
						着工	完了			前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)	用地進捗率(%)	H20年度事業費(億円)	H21年度以降本費(億円)				B/C	分析基礎の要因の変化				
						上段:当初	下段:変更											当初					現行
<b>環境部</b>																							
<b>水環境対策課</b>																							
水対一1	公共下水道事業	西海市特定環境保全公共下水道事業(大串処理区)	市	西海市	計画区域 64ha 計画人口 2,900人 計画汚水量(日最大) 1,500m3/日	H11	H28	42.5	事業採択後10年経過	20.1	47.3	100	4.5	17.9	農業集落排水事業(小迎地区、皆割石地区)(H6~H14)浄化槽事業	事業計画において加味した開発人口に変更はない。その他、事業計画値の見直しを要する様な社会経済情勢の変化はない。	住民の下水道事業に対する関心は高く、早期の整備を望む声が多い。	-	1.27	当初算出なし	代替案の可能性はない。	-	継続
						H11	H28																
水対一2	公共下水道事業	雲仙市特定環境保全公共下水道事業(吾妻処理区)	市	雲仙市	計画区域273ha 計画人口6900人 計画汚水量(日最大) 3200m3/日	H11	H26	74.6	事業採択後10年経過	51.9	70.0	100	7.6	15.1	市町村型合併浄化槽(区域外)H17~H24	平成17年度に7町による合併を完了。公共用水域及び住環境の保全のため下水道事業を継続して推進することになりなし	住民の下水道事業に関する関心は高く、早期接続を望む声が多い	-	1.57	当初算出なし	代替案の可能性はない	-	継続
						H11	H26																
水対一3	公共下水道事業	小値賀町特定環境保全公共下水道事業(笛吹処理区)	町	小値賀町	計画区域 80ha(区域) 計画人口 2,350人 計画汚水量(日最大) 1,100m3/日	H11	H27	25.3	事業採択後10年経過	23.6	93	100	0.0	1.7	農業集落排水事業(浜津地区)(H14~H17)	生活排水による魚場環境の悪化が考えられる中、漁業は本町の経済の柱であり、下水道の整備は必要不可欠である。	下水道整備効果が徐々に現れ、住民の下水道に関する関心が高くなった。	-	1.21	当初算出なし	代替案の可能性はない	-	継続
						H11	H27																

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期			再評価の理由	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト縮減及び代替案立案の可能性の有無	前回審議年度	対応方針(原案)		
					着工	完了	事業費(億円)		前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)	用地進捗率(%)	H20年度事業費(億円)	H21年度以降事業費(億円)				B/C	分析基礎の要因の変化					
																						当初	現行
					上段：当初				下段：変更														
<b>土木部</b>																							
<b>港湾課</b>																							
港湾 -1 (個別)	久山港改修事業	久山地区 国内物流ターミナル 整備	県	諫早市	(当初) 航路(-5.5m) 11,000 泊地(-5.5m) 33,000m <sup>2</sup> 護岸(防波) 280m 岸壁(-5.5m)(A) 100m 岸壁(-5.5m)(B) 100m 道路(A) 6m×1,440m 道路(C) 6m×45m 道路(D) 6m×210m 橋梁(A) 1基 橋梁(B) 1基	H6	H19	38.9	再評価後 5年経過	31.5	88	100	1.1	3.3	特になし	H19.9に1バース目の暫定 供用を開始したが、取扱 数量が、計画した数量に 比べて少ない状況である。	供用中の1バース については、 砂業者1社、1 組合及び金属 業者、木材業者 が調整しながら 岸壁を使用し ており、早期完成 が望まれている。	1.69	1.26	・事業費の見直し によるもの ・需要の見直しに よるもの	可能な限りコスト 削減を図る 代替案の可能 性はない	H15	見直し 継続
					(変更) 泊地(-5.5m) 65,700m <sup>2</sup> 護岸(防波) 70m 岸壁(-5.5m)(A) 100m 道路(A) 6m×1,300m 道路(C) 6m×45m 橋梁(A) 1基 橋梁(B) 1基	H6	H23	35.9															
港湾 -2 (個別)	比田勝港改修事業	比田勝地区 複合一貫輸送ターミ ナル整備	県	対馬市	泊地(-7.5m) V=11,540m <sup>2</sup> 岸壁(-7.5m) L=150m 岸壁(-7.0m) L=40m 道路 6m×700m 駐車場 A=5,430m <sup>2</sup>	H11	H23	33.5	事業採択後 10年経過	14.3	42.8	0	2.1	17.1	特になし	近年、韓国(釜山)航路の 旅行者が大幅に伸びてい る	早期完成が望 まれている。	-	1.35		代替案の可能 性は無い	-	継続
						H11	H23	33.5															
港湾 -3 (個別)	福島港海岸保全事 業	護岸整備	県	松浦市	護岸(消波) 1,065m 護岸(改良) 680m	H11	H17	10.5	事業採択後 10年経過	2.4	28	-	0.3	5.9	特になし	護岸前面が良好な藻場と なっており、工事による影 響を軽減するために一部 区間を消波ブロック工法か ら嵩上げ工法に変更し た。その際の地元調整に 平成16年度から19年度ま での期間を要している。	護岸の天端高 不足に対し、早 急な護岸の整 備が望まれて いる。	-	5.29	採択時、算出なし	-	-	継続
						H11	H26	8.6															

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

事業名	施設名	事業主体	事業計画			再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)				
							事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無						
							前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)	用地進捗率(%)	H20年度事業費(億円)	H21年度以降事業費(億円)				B/C	分析基礎の要因の変化							
																				当初	現行		
工期		事業費		着工	完了	上段:当初	下段:変更																
河川-1 (個別)	都市基幹河川改修事業	中島川	県	長崎市	改修延長 L=1,750m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替及び左岸バイパス等	S63	H19	78.0	再評価後5年経過	82.4	83.7	98.0	6.0	10.0	特になし	長崎市の中心市街地として、大きな変動はない。	早期完成を要望。	6.63	5.83	・算出手法の変更・左岸バイパス、中央橋等の大型施設及び関連工事に係る事業費の増	可能な限りコスト削減を図る。代替案と比較したうえで最適案と判断した。	H15	継続
																		S63	H24				
河川-2 (個別)	総合流域防災事業	山田川	県	雲仙市	改修延長 L=1,000m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備及び橋梁架替	H15	H25	17.0	再評価後5年経過	4.0	23.6	80.0	0.5	12.5	特になし	特に開発計画もなく、人口の変動も少ない。	早期完成を要望。	2.79	3.91	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		H15	H25				
河川-3	総合流域防災事業	大明寺川	県	西海市	改修延長 L=1,800m 河道拡幅に伴う河床掘削、築堤、護岸整備及び橋梁架替等	S55	H20	23.6	再評価後5年経過	19.2	81.4	100.0	0.6	3.8	特になし	特に開発計画もなく、人口の変動も少ない。	早期完成を要望。	1.49	2.41	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		S55	H24				
河川-4 (個別)	総合流域防災事業	仁反田川	県	諫早市	改修延長 L=900m 河道拡幅に伴う河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替、水門(樋門)改築等	S58	H22	30.0	再評価後5年経過	18.1	60.3	100.0	0.0	11.9	特になし	特に開発計画もなく、人口の変動も少ない。	早期完成を要望。	1.12	1.24	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		S58	H25				
河川-5	総合流域防災事業	江川	県	長崎市	改修延長 L=1,006m 河道拡幅に伴う河床掘削、築堤、護岸整備及び橋梁架替等	H3	H21	16.0	再評価後5年経過	8.4	52.5	68.0	0.4	7.2	特になし	特に開発計画はないが、道路整備が進められているので、今後、宅地化が進むと考えられる。	早期完成を要望。	3.90	3.23	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案と比較したうえで最適案と判断した。	H15	継続
																		H3	H28				
河川-6	総合流域防災事業	三重川	県	長崎市	改修延長 L=760m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	S57	H21	12.2	再評価後5年経過	9.0	73.8	99.4	0.0	3.2	特になし	特に開発計画もなく、人口の変動も少ない。	早期完成を要望。	1.35	1.21	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		S57	H26				
河川-7	総合流域防災事業	高田川	県	長与町	改修延長 L=1,459m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	H5	H25	35.0	再評価後5年経過	26.5	75.7	85.0	0.5	8.0	特になし	特に開発計画はないが、道路整備が進められているので、今後、宅地化が進むと考えられる。	早期完成を要望。	5.71	5.04	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		H5	H27				
河川-8	総合流域防災事業	鹿尾川	県	長崎市	改修延長 L=3,870m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	S49	H24	52.0	再評価後5年経過	40.6	78.1	95.0	0.6	10.8	特になし	市郊外の住宅地で、特に開発計画はないが、道路整備と合わせて、さらなる宅地化も予想される。	早期完成を要望。	1.73	1.90	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案と比較したうえで最適案と判断した。	H15	継続
																		S49	H29				
河川-9	総合流域防災事業	佐々川	県	佐世保市佐々町	改修延長 L=6,230m 河道拡幅に伴う河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替等	S36	H20	69.1	再評価後5年経過	62.2	90.0	100.0	0.3	6.6	特になし	西九州道路の整備に伴って、企業の立地もみられる。	早期完成を要望。	12.23	11.70	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		S36	H23				
河川-10 (個別)	総合流域防災事業	日野川	県	佐世保市	改修延長 L=1,840m 河道拡幅に伴う河床掘削、築堤、護岸整備、橋梁架替等	H3	H25	78.0	再評価後5年経過	68.8	76.4	87.1	3.0	18.2	佐世保市都市下水路事業と調整しながら進めている。	特に開発計画はないが、県道沿いに宅地化が進んでいる。	早期完成を要望。	4.80	3.90	・算出手法の変更・軟弱地盤における護岸・橋梁施工にともなう事業費の増等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		H3	H27				
河川-11 (個別)	総合流域防災事業	日宇川	県	佐世保市	改修延長 L=2,002m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	S43	H23	25.0	再評価後5年経過	13.9	55.6	72.4	0.0	11.1	特になし	佐世保市の中心市街地として、大きな変動はない。	早期完成を要望。	13.04	15.83	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
																		S43	H30				

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

河川	事業計画								再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)	
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期				事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無			
						着工	完了	事業費(億円)		前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)	用地進捗率(%)	H20年度事業費(億円)	H21年度以降本事業費(億円)				B/C	分析基礎の要因の変化				
						上段:当初	下段:変更						当初	現行									
河川-12	総合流域防災事業	佐世保川	県	佐世保市	改修延長 L=3, 130m 河道拡幅等に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	S43	H18	33.0	再評価後5年経過	32.3	93.9	100.0	0.7	1.4	特になし	佐世保市の中心市街地となっており、開発が進んでいる。	早期完成を要望。	11.51	10.61	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
S43	H21	34.4																					
河川-13	総合流域防災事業	古田川	県	平戸市	改修延長 L=1, 665m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	S57	H18	18.9	再評価後5年経過	17.0	89.5	100.0	1.0	1.0	特になし	特に開発計画もなく、人口の変動も少ない。	早期完成を要望。	5.11	5.74	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
S57	H22	19.0																					
河川-14	総合流域防災事業	田川	県	対馬市	改修延長 L=1, 680m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	H14	H21	10.7	再評価後5年経過	4.6	43.0	88.9	0.6	5.5	特になし	特に開発計画もなく、人口の変動も少ない。	早期完成を要望。	4.57	5.71	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
H14	H25	10.7																					
河川-15	都市基盤河川改修事業	江川川	市	長崎市	改修延長 L=2, 530m 河道拡幅に伴う河床掘削、護岸整備、橋梁架替等	S56	H25	31.6	再評価後5年経過	22.0	69.6	83.6	0.2	9.4	特になし	特に開発計画はないが、河川沿いに宅地化が進んでいる。	早期完成を要望。	3.70	4.08	算出手法の変更等	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
S56	H30	31.6																					

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

事業名	施設名	事業主体	事業計画			再評価の理由	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)					
			事業箇所	事業概要	工期		事業費	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析			コスト削減及び代替案立案の可能性の有無				
								着工	完了	前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)	用地進捗率(%)				H20年度事業費(億円)				H21年度事業費(億円)	B/C	分析基礎の要因の変化	
																							当初
<b>砂防課</b>																							
砂防-1	地すべり対策事業	白井岳地区	県	松浦市	集水井7基 集水Bor113本 横Bor86本 杭打工216本	S57	H20	9.0	再評価後5年経過	8.2	74.8	100	0.4	2.4	特になし	当地区は地すべり末端に二級河川調川川が流れ、下流には住宅地が広がっており保全効果が高い。現在は対策工が完了したブロックにおいては地すべりの動きは沈静化している。	地すべり対策工事の早急な完成を望んでいる。	2.40	2.16	対策工詳細設計による事業費の増。	抑制工の効果継続的に観測しながら施設配置等の最適化を図り、コスト削減に努める。	H15	継続
						S57	H25	11.0															
砂防-2	地すべり対策事業	腰差地区	県	松浦市	集水井15基 集水Bor226本 排水Bor22本 横Bor13本 杭打工229本 水路工1,000m	H1	H30	26.6	再評価後5年経過	13.4	46.5	100	1.9	13.5	特になし	保全対象に重要な公共施設(河川、道路)が多く、松浦-伊万里の交通の要所となっているため、地すべりの早期収束が望まれている。	地すべり対策工事の早急な完成を望んでいる。	1.14	1.11	対策工詳細設計による事業費の増。	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性は無い。	H15	継続
						H1	H34	28.8															
砂防-3	地すべり対策事業	里地区	県	松浦市	集水井11基 集水Bor232本 排水Bor11本 横Bor86本 杭打工376本 アンカー工72本 隧道工1,133m	S56	H22	10.7	再評価後5年経過	9.0	73.8	100	0.7	2.5	隣接地にて市の区画整理事業が進行中	松浦市の土地区画整理事業に伴う宅地造成により、保全対象人家の増加が見込まれ、以前より増して早期対策工の完了が望まれている。	地すべり対策工事の早急な完成を望んでいる。	2.56	2.54	対策工詳細設計による事業費の増並びに保全対象の増。	抑制工の効果継続的に観測しながら施設配置等の最適化を図り、コスト削減に努める。	H15	継続
						S56	H25	12.2															
砂防-4	地すべり対策事業	高野地区	県	松浦市	集水井6基 集水Bor101本 排水Bor6本 横Bor74本 杭打工441本	S62	H20	13.5	再評価後5年経過	11.3	83.8	100	1.0	1.2	特になし	地すべり末端部付近には市営住宅があり、保全人家も多く、早期対策工の完成が望まれている。	地すべり対策工事の早急な完成を望んでいる。	12.78	12.76	工期の延長による。	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性は無い。	H15	継続
						S62	H23	13.5															
砂防-5	地すべり対策事業	飛鳥地区	県	松浦市	集水井4基 集水Bor55本 横Bor89本 杭打工163本 法枠工4,798㎡ アンカー工278本	S61	H21	11.5	再評価後5年経過	11.5	90.2	100	0.2	1.1	特になし	ブロック末端は急崖で宅地が並んでおり、近年では市の漁港施設も完成したため、対策工の早期概成が望まれている。	地すべり対策工事の早急な完成を望んでいる。	1.75	1.44	事業費の増による。	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性は無い。	H15	継続
						S61	H22	12.7															
砂防-6	地すべり対策事業	大屋地区	県	鹿町町	集水井6基 集水Bor96本 横Bor116本 法面工12,654㎡ 杭打工204本 アンカー工455本	S48	H21	14.5	再評価後5年経過	14.3	92.5	98	0.7	0.5	特になし	近年、地すべり運動は全体的に小康状態と言えるが、斜面直下に保全対象である人家、町道が位置することから対策工の早期概成が望まれている。	地すべり対策工事の早急な完成を望んでいる。	3.70	3.46	対策工詳細設計による事業費の増。	抑制工の効果継続的に観測しながら施設配置等の最適化を図り、コスト削減に努める。	H15	継続
						S48	H24	15.5															
砂防-7	地すべり対策事業	香焼地区	県	長崎市	集水井4基 集水Bor58本 排水Bor4本 横Bor79本 杭打工182本 法面工6,500㎡	H11	H21	12.0	事業採択後10年経過	10.1	83.8	100	0.7	1.2	特になし	これまでの対策により地すべり変動は小康状態だが、保全対象には災害時要援護者施設もあり、早急な地すべりの収束が望まれている。	地すべり対策工事の早急な完成を望んでいる。	8.44	8.36	人家戸数の減による。	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性は無い。	-	継続
						H11	H21	12.0															

## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期 着工 完了 (億円) 上段：当初 下段：変更			再評価の理由	再評価の視点											前回審議年度	対応方針(原案)	
									事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無			
									前年度迄事業費(億円)	進捗率(%)	用地進捗率(%)	H20年度事業費(億円)	H21年度以降事業費(億円)				B/C	分析基礎の要因の変化				
																						当初
都計-1 (個別)	街路事業	破籠井鷺崎線	県 諫早市	延長L=1,290m、幅員W=25m 諫早市街地における交通混雑の緩和及び安全かつ円滑な交通の確保を目的とする。	H1	H18	81.2	再評価後5年経過	95.0	90.0	100	10	1.0	一般県道諫早外環状線(仲沖工区)は、H20供用開始予定。	平成15年度に仲沖町～幸町間約600mを暫定2車線による供用を行ったことにより、当該路線周辺の交通量が増大している。	早期完成が望まれている。	3.99	3.4	・事業費の見直しによるもの ・完成年度の遅延によるもの	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
H1	H21	106.0																				
都計-2	街路事業	相浦棚方線	県 佐世保市	延長3630m、幅員22m 佐世保市北西部における交通混雑の緩和及び安全かつ円滑な交通の確保を目的とする。	S48	H18	165.0	再評価後5年経過	157.7	98	100	1.4	1.9	特になし	平成15年度に棚方ランプまで供用開始し、本路線に接続する棚方崎真申線の整備方針について平成19年度に決定し、整備を進めている。	中心市街地へ向かう現道の交通渋滞改善策として早期完成が望まれている。	2.47	1.33	・完成年度の遅延によるもの ・推計交通量の減によるもの	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
S48	H23	161.0																				
都計-3 (個別)	街路事業	神浦山手線	県 佐世保市	延長970m、幅員13m 宇久町の地域交通の安全確保を図るとともに、健全な市街地形成を誘導する。	H6	H19	18.5	再評価後5年経過	13.8	66	99	2.5	4.5	特になし	平成18年度末に佐世保市と合併し、新しい佐世保市として市制が開始される。	県道宇久島循環線のバイパス路線であり、地元から早急な整備が望まれている。	1.64	1.14	・事業費の見直しによるもの ・完成年度の遅延によるもの	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
H6	H21	20.8																				
都計-4 (個別)	街路事業	小ヶ倉蛸茶屋線	市 長崎市	延長2,960m、幅員13m 市中心部の渋滞緩和と斜面市街地における生活道路、緊急避難通路として位置づけられている。	S63	H19	163.7	再評価後5年経過	167.5	93	99.9	4.3	8.9	県道小ヶ倉蛸茶屋線(平成18年10月開通)	経済状況が厳しい中、建設資材は高騰しており、事業費にも影響をもたらしている。また、平成17年1月4日及び平成18年1月4日の市町村合併により、財政状況が圧迫する中で計画どおりの予算を確保することができない。	早期完成が望まれている。	1.94	2.17	・事業費の見直しによるもの ・完成年度の遅延によるもの	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
S63	H21	180.7																				
都計-5 (個別)	街路事業	出島・南山手地区	市 長崎市	延長1,040m、幅員15m 長崎市の観光地を代表する出島・南山手地区の居留地文化軸として歴史的地区環境整備街路事業で整備している。	S58	H19	72.0	再評価後5年経過	35.9	58	57	3.0	23.0	十善寺地区密集住宅市街地整備促進事業(平成17年度～23年度・平成19年度末進捗率62%)	経済状況が厳しい中、建設資材は高騰しており、事業費にも影響をもたらしている。また、平成17年1月4日及び平成18年1月4日の市町村合併により、財政状況が圧迫する中で計画どおりの予算を確保することができない。	早期完成が望まれている。	2.05	2.23	・事業費の見直しによるもの ・完成年度の遅延によるもの	可能な限りコスト削減を図る。代替案の可能性はない。	H15	継続
S58	H23	61.9																				
都計-6 (個別)	土地区画整理事業	高田南土地区画整理事業	町 長与町	A=49.8ha 建物移転257戸 宅地造成323,100m <sup>2</sup> 道路築造18,391m 公園、緑地18,251m <sup>2</sup>	S58	H20	234.4	再評価後5年経過	175.1	69	-	8.6	68.5	都計道・赤迫線H14完成 都計道・高田線H12完成 都計道・道の尾駅前線 H21完成予定	地区内都市計画道路の一部が完成し、沿道利用が進み、また造成が済んだ宅地について建築が行われ、団地が形成されてきている。	早期完成が望まれている。	1.88	2.09	当初算出はなし	土工事の効率的な施工代替案の可能性なし	H15	継続
S58	H29	252.2																				



## 平成20年度 再評価対象事業一覧表

平成20年7月9日作成

都計	事業計画								再評価の理由	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)	
	事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工期		事業費(億円)		事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析				コスト削減及び代替案立案の可能性の有無
						着工	完了			前年度迄事業費	進捗率	用地進捗率	H20年度事業費	H21年度以降事業費				B/C	分析基礎の要因の変化			
						上段:当初	下段:変更			(億円)	(%)	(%)	(億円)	(億円)								
都計-7	公園整備事業	西海橋公園	県	佐世保市 西海市	総合公園 計画決定面積 46.0ha 既開設面積 30.5ha (芝生広場、アスレチック広場、ソフトボール場、添架歩道、ウォークデッキ等)  現在、平成17年度に供用開始した新西海橋の周辺整備を行っている。	S31	H27	73.9	59.0	80	98	2.5	12.7	新西海橋供用開始 (平成18年3月)	平成13年度に公園区域の見直しを行い、当初の55.1haから現在の46.0haへ変更を行った。 新西海橋の整備に伴い添架歩道の区域を追加するとともに、整備区域の見直しを図り将来的に整備が見込めない住宅地等について公園区域を廃止した。	早期完成が望まれている。	1.25	7.50	・分析基礎の要因の変化は特になし(分析手法の改訂(改良)があった。)	建設コストと維持管理コストを抑えるために、施設系の整備計画の一部削減など見直しを図る。	H15	継続
都計-8	都市公園事業	百花台公園	県	島原市 雲仙市	広域公園 計画決定面積 48.4ha 既開設面積 26.8ha (大芝生広場、遊具広場、多目的広場、ソフトボール場、テニスコート等)  現在、平成12年度に区域拡張を行った16.5haの整備を実施している。	S55	H28	71.3	60.9	80	94	4.0	11.4	全国育樹祭開催予定 (平成21年秋)	平成12年度に公園区域の見直しを行い、当初の34.9haから現在の48.4haへ変更を行った。 広域公園として多様な公園利用を図るため、既存のスポーツ施設を中心とした区域に追加して、自然と触れあえる空間づくりを目的とした区域の拡張を行った。	早期完成が望まれている。	1.13	6.48	・分析基礎の要因の変化は特になし(分析手法の改訂(改良)があった。)	建設コストと維持管理コストを最小限に抑えるために、施設系の整備計画を削減・縮小し、植栽に重点を置いた自然を活かす公園計画へ見直しを図る。	H15	継続